

印西大師 番外 平塚・榎大みち（榎大三叉）

- 1 名称 (No.167/297)〔手引鏡：榎大三叉（ゑのきあふみち）〕〔資料館：榎大みち〕
- 2 場所 白井市平塚
- 3 由緒
- 4 御堂
- 5 境内
- 6 写真
- 7 情報

(1) 榎大みち（榎大三叉）の推測（その1）～竹下中台墓地あたり

竹森工業の前を名内・野中とし、ここから河原子堂を経て榎大みちまでは、手引鏡によれば665m（6丁6間）+1,691m（15丁半）=2,356m、一方、中台薬師から榎大みちまでは291m（2丁半6間）であるので、これらを明治初期の迅速図に落としてみると、右下図のとおりとなる。白点線の○印あたりが榎大みち（榎大三叉）と考えられる。三叉路=Y字路とすると、ピンク色の●印で示した現在の竹下中台墓地の南の三叉路が有力候補となる。



(2) 榎大みち（榎大三叉）の推測（その2）～金左エ門跡、堂跡墓地、山中天満宮あたり

手引鏡によれば、中台薬師から榎大みちまでは2丁半6間（291m）であるので、これらを明治40年の古地図に落としてみると、右図のとおりとなる。赤○のあたりに榎大みち（榎大三叉）があったことになる。

榎大みちは榎大三叉ということから、榎台にある三叉路のところにある御堂とも考えられるので、中台薬師から榎台へ向かい、榎台から小森へ向かうY字路あたりが有力である。近くの「金左エ門跡」、「堂跡墓地」、「山中天満宮」には石造物があるので、このあたりに大師堂があったとも考えられる。



(3) 榎大みち（榎大三叉）の推測（その3）～榎台堂

2024年1月20日付の白井市郷土史の会のブログに昭和6年の東葛印旛大師の札所の絵図（右上の図はその一部）が出ていました。本郷堂の次に中台堂があり、中台堂から3丁（327m）先に掛所として「榎台堂」が出ています。榎大みちは中台薬師から2丁半6間（291m）であることから、榎台堂である可能性もある。

この榎台堂について、白井市郷土史の会にメールでお尋ねしたところ、印旛郡誌に出ている「薬師堂」とのことで、「白井町石造物調査報告書第3集」には「榎台堂跡墓地」が出ている。かつてはお堂があったのだが、何時の頃かなくなり、今は道路から石段を登ると狭い平場になっていて、石造物が並んでいる、との情報をいただきました。



そこには、2022年10月に行ってみたのですが右の写真のとおり、階段を登ったところに石像物はあったものの草が生い茂っていて調べられなかったところです。再度現地に行って「榎大みち」の痕跡がないか探してみます。



白井市郷土史の会の高花様、いろいろ教えていただき、ありがとうございました。

「薬師堂 平塚村字榎台にあり 延命寺持ちにして薬師如来を本尊とす 由緒不詳 堂宇間口二間半奥行五間 境内八十九坪あり 檀徒百五人」（印旛郡誌）